

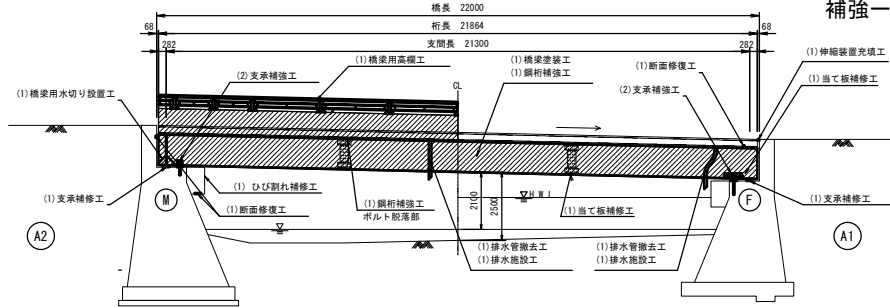
No.		図面番号	枚数	備考
001	補修補強一般図	1	1	
002	橋梁塗装工詳細図	2	1	
003	鋼桁補強工詳細図	3	1	
004	ひび割れ補修工・断面修復工詳細図	4	1	
005	伸縮装置充填工詳細図	5	1	
006	橋梁用水切り設置工詳細図	6	1	
007	排水施設工・排水管撤去工 詳細図 (1)	7	1	
008	排水施設工・排水管撤去工 詳細図 (2)	8	1	
009	橋面防水工・舗装打換え工・区画線工 詳細図	9	1	
010	橋梁用高欄工 詳細図(1)	10	1	
011	橋梁用高欄工 詳細図(2)	11	1	
012	側壁補強工構造図(1)	12	1	
013	側壁補強工構造図(2)	13	1	
014	支承補強工・当て板補修工構造図(1)	14	1	
015	支承補強工・当て板補修工構造図(2)	15	1	
016	支承補強工・当て板補修工構造図(3)	16	1	
017	支承補強工・当て板補修工構造図(4)	17	1	
018	支承補強工・当て板補修工構造図(5)	18	1	
019	支承補強工・当て板補修工構造図(6)	19	1	
020	支承補強工・当て板補修工構造図(7)	20	1	
021	支承補強工・当て板補修工構造図(8)	21	1	
022	仮設工参考図	22	1	

補修補強一般図

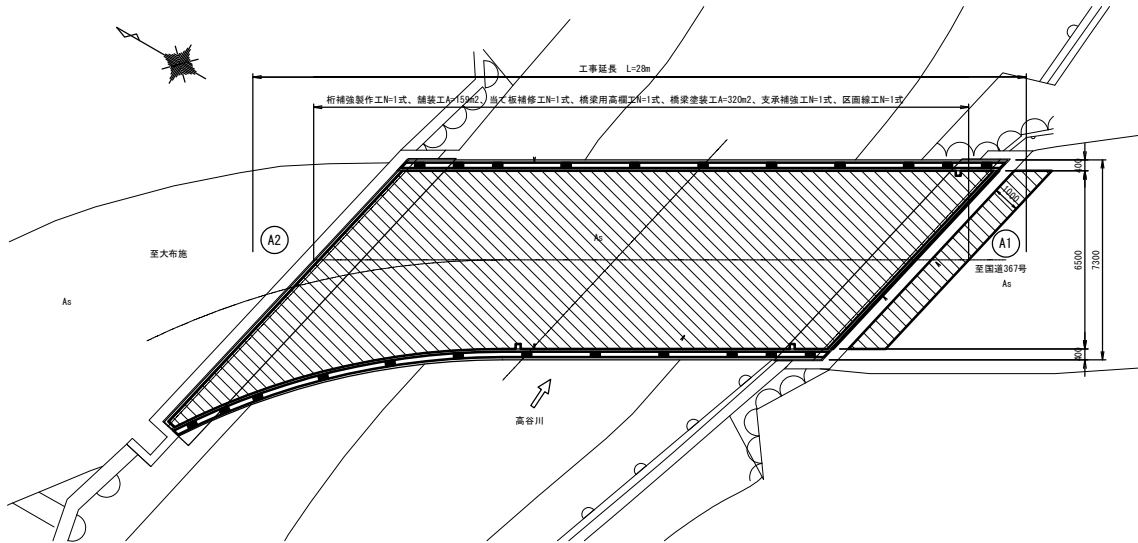
補修一般図：二ノ瀬橋(1)

補強一般図：二ノ瀬橋(2)

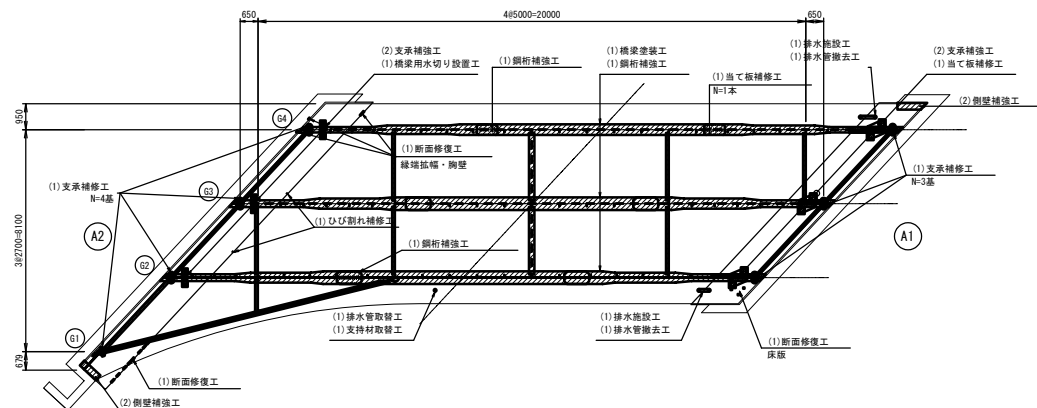
側面図



平面図
路面

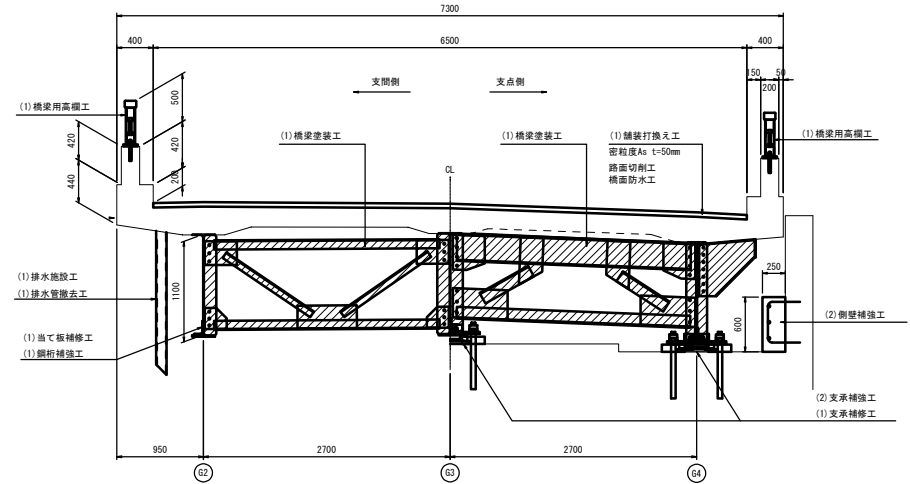


桁下



S=1:100

標準断面図 S=1:30



(1) 二ノ瀬橋(1) (2) 二ノ瀬橋(2)

補修補強項目			
対象部位	補修補強工種	仕様等	
主桁・横桁・対横構	橋梁塗装工(1)	Rc-1塗装(筒環式プラスチック+重防食塗装)	
	鋼桁補強工(1)	金属パテ補修	
主桁	当て板補修工(1)	SS400、S10T	
	橋梁用水切り設置工(1)	軟質ポリ塩化ビニル製	
床版	断面修復工(1)	ポリマーセメントモルタル	
	支承補強工(2)	水平分担構造(SM400A、S5400)	
支承	支承補修工(1)	反力1500kN以下、支承板支承：7基	
	排水管	排水施設工(1)、排水管撤去工(1)	VP125
伸縮装置(A1)	橋梁用水切り設置工(1)	充填材：ジェラフィン同等品以上	
防護柵	橋梁用高欄工(1)	SS400+溶融亜鉛メッキ塗装(ダークブラウン)	
舗装	舗装打換え工(1) 路面切削工(1)	再生密粒度アスコン、塗膜系防水(As加熱型)	
橋台	A1・A2	側壁補強工(2)	24-12-25(20)BB、SD345
	A2	ひび割れ補修工(1)	エポキシ樹脂
		断面修復工(1)	ポリマーセメントモルタル

二ノ瀬橋(1) 二ノ瀬橋(2)

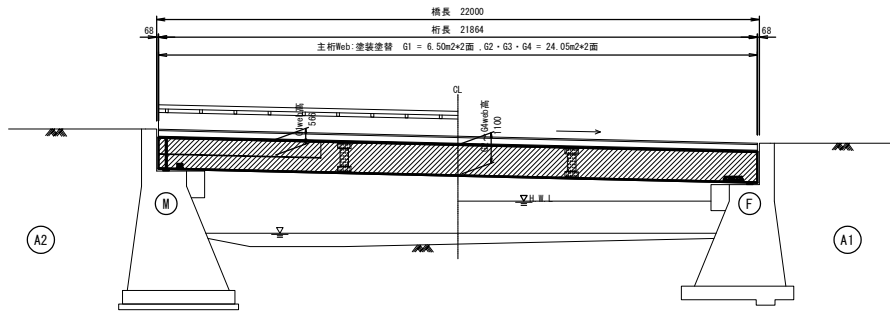
工事名	二ノ瀬橋補修工事
工事場所	京都市左京区大原小出石町地内
図面名	補修補強一般図
事業年度	令和8年度
縮尺	図示
図面番号	1 / 22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課	

※引出線の(1)(2)は設計内訳書の番号を示している

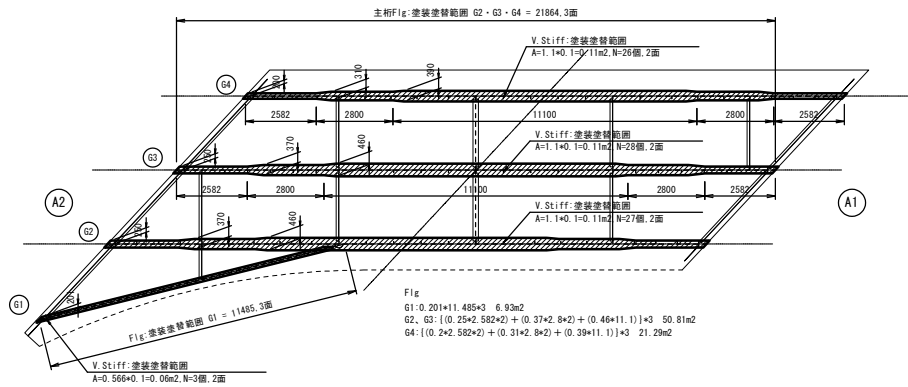
橋梁塗装工詳細図

S=1:100

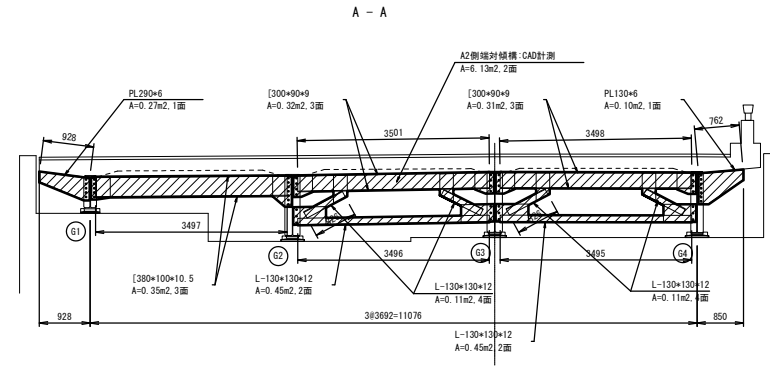
側面図



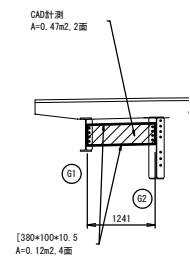
平面図



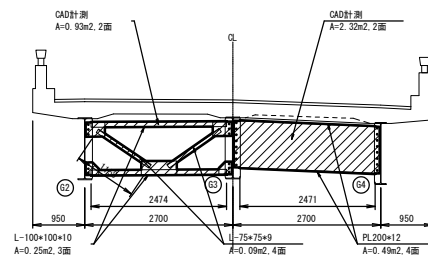
断面図 S=1:50



中間対傾構2
N=1個

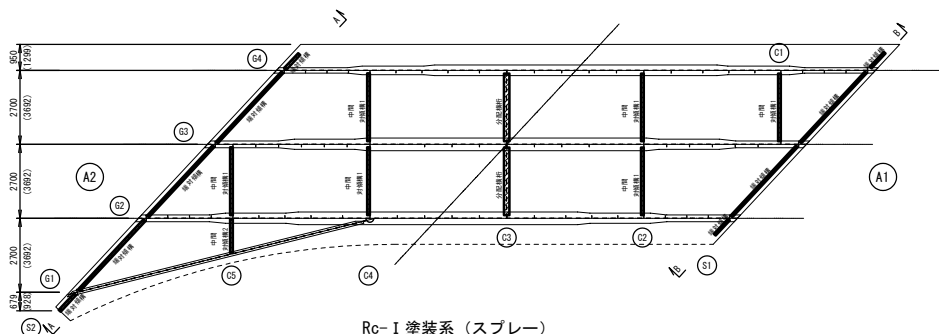
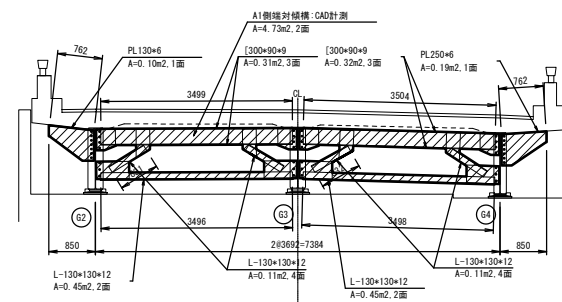


中間対傾構1
N=6個



分配横桁
N=2個

B-B



Rc-I 塗装系 (スプレー)

塗装工程	仕様	使用量 (kg/m ²)	塗膜厚	塗装間隔
1	素地調整	1種ケレン (循環式プラスト処理) (※橋梁用高欄工、排水管撤去工 含む)		4時間以内
2	下塗り	有機ジンクリッチペイント	0.60kg/m ² 2	75 μm
3	下塗り	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗り	0.24kg/m ² 2	60 μm
4	下塗り	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗り	0.24kg/m ² 2	60 μm
5	中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗り (濃彩)	0.17kg/m ² 2	30 μm
6	上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗り (濃彩)	0.14kg/m ² 2	25 μm

注記

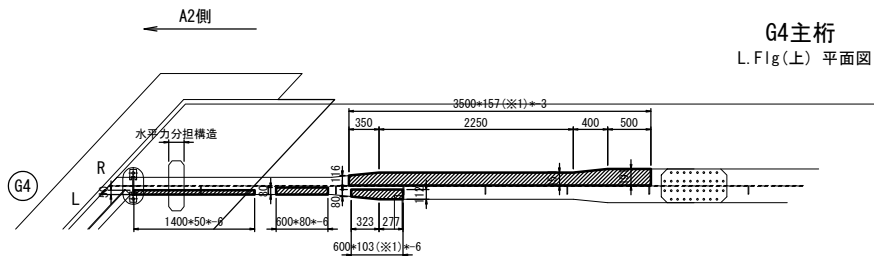
- 1) 現地で実状や部材寸法を確認の上、施工すること。
- 2) 塗膜に基準値を超えるをれ及びクラックが含まれていることに留意し施工すること。
- 3) 素地調整はNETIS No. CB-100047-VE同等品以上とすること。
- 4) 主桁の当て板や支保部水平分担構造等を計画している。素地調整は補修前、塗装は補修後に行うこと。

ニノ欄橋(1)

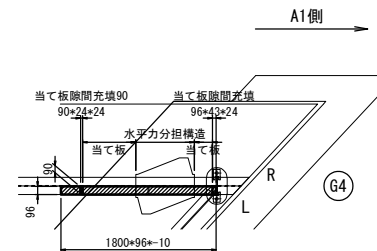
工事名	ニノ欄橋補修工事
工事場所	京都市左京区大原小出石町地内
図面名	橋梁塗装工詳細図
事業年度	令和8年度
縮尺	図示
図面番号	2 / 22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課	

鋼桁補強工詳細図

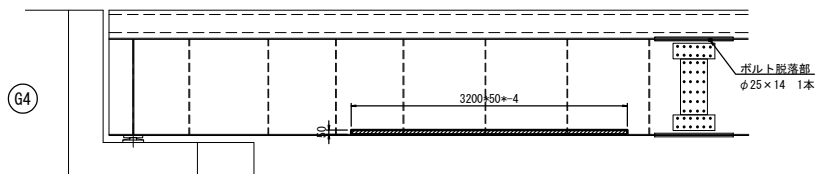
S=1:30



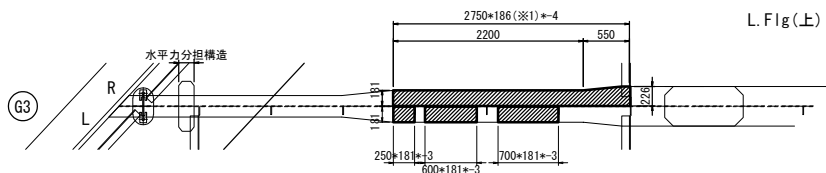
G4主桁
L.Fig(上) 平面図



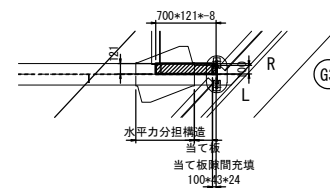
Web (R側) 側面図



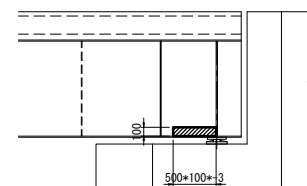
G3主桁
L.Fig(上) 平面図



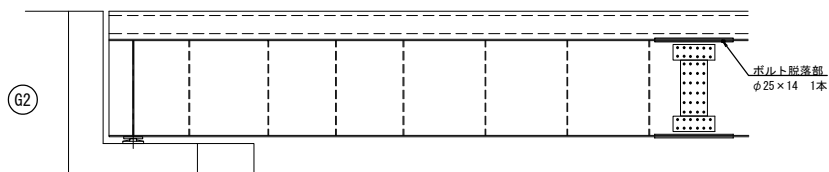
G3主桁
L.Fig(上) 平面図



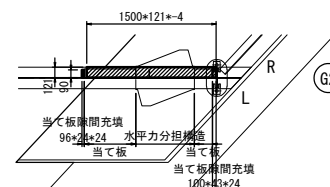
Web (R側) 側面図



G2主桁
Web 側面図



L.Fig(上) 平面図



鋼桁補強工 合計

工種	種別	仕様	単位	数量	備考
金属バテ補修	金属バテ補修	t=3~24mm	m ³	0.01	
	金属補修バテ材	ラスタック E1110同等品以上	セット	24	標準使用量 2.200kg/m ³ , 仮大割1.05

注記

- 平均値を示す。
- 工事に先立って、既設構造物の形状測定を行い、寸法を確認すること。
- 1種ケレンにて鋼部材表面の錆部を除去した後に行い、非腐食部と同等の鋼断面厚に復旧し、整形する。
- 水平力分担構造と主桁下フランジの接合面は確実に密着するように金属バテを物に平滑に仕上げる。
- 当て板間充填の詳細は、当て板補修工・支承補強工詳細図を参照すること。

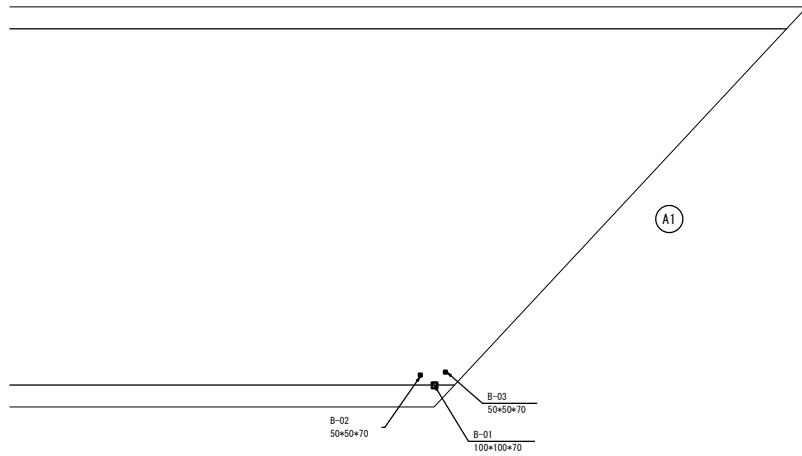
二ノ副図(1)

工事名	二ノ橋補修工事		
工事場所	京都市左京区大原小石町地内		
図面名	鋼桁補強工詳細図		
事業年度	令和 8年度		
縮尺	S=1:30	図面番号	3 / 22
京都市建設局土木管理部構りょう健全推進課			

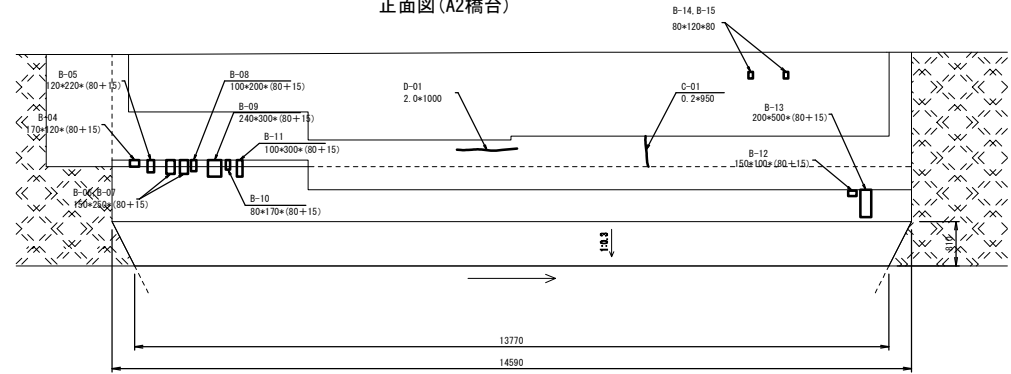
ひび割れ補修工・断面修復工詳細図

S=1:50

平面図(床版)

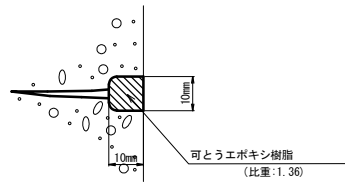


正面図(A2橋台)



ひび割れ補修工(充てん工法)詳細図

(ひび割れ幅 1.0mm以上)



断面修復工 補修要領図

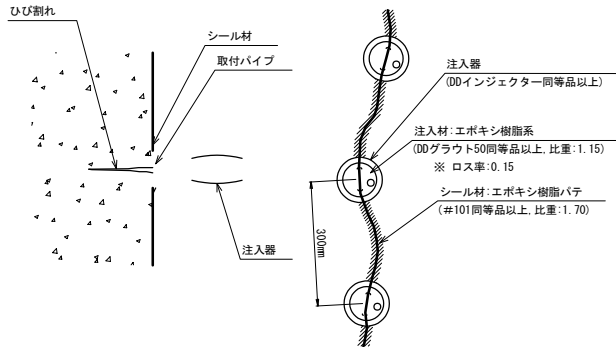
1. はつり 躯体表面から所定の深さまではつる。
2. 下地処理 ワイヤブラシ等を用いて構内の切替等の清掃を行う
3. 鉄筋防錆処理 鉄筋の錆を完全に落とし、防錆剤を塗布する。
4. プライマー塗布 はつり出したコンクリート面に刷毛を用いてプライマーを塗布する。
5. 断面修復(左管工法) ポリマーセメントモルタルを左管工法により施工する。
6. 養生・仕上げ 表面は平坦に仕上げ上げる。

※注意事項

- 1) 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を考慮しないよう周囲に深さ1cm程度、コンクリートカッターにより切目地を入念に施工する。
- 2) 剥離・豆板部は、うき・せい部部分をはつり取り、鉄筋が見えた場合は、鉄筋防錆処理後、欠損断面を補修する。
- 3) 鋼材露出部は、はつり後、鉄筋の防錆処理を入念に行った後、断面補修する。
- 4) 断面修復材 ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針(案)[工法別マニュアル編]平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。
- 5) はつり深さ 鉄筋のかぶり量が竣工図通りであるか不明確なため、はつり深さは現地を確認のうえ変更すること。

ひび割れ補修工(低圧注入工法)詳細図

(ひび割れ幅 0.2mm以上1.0mm未満)



ひび割れ補修工(低圧注入工法) 数量表

No	箇所名	ひびわれ幅×長さ(mm)	備考
C-01	A2橋台	0.2×950	

ひび割れ補修工(充てん工法) 数量表

No	箇所名	ひびわれ幅×長さ(mm)	備考
D-01	A2橋台	2.0×1000	

注記

- 1) 補修範囲の寸法等を確認のうえ、施工すること。
- 2) はつり深さは、実際の実状深さを考慮して適宜変更すること。
- 3) ひびわれ補修工は、ひびわれ幅0.2mm以上を対象としている。面に示されていない新たなひびわれは、ひびわれ幅を確認し、0.2mm以上のものは併せて補修すること。

断面修復工(防錆あり) 数量表

No	箇所名	横断方向×縦断方向×深さ(mm)	面積(m ²)	体積(m ³)	備考	No	箇所名	横断方向×縦断方向×深さ(mm)	面積(m ²)	体積(m ³)	備考
B-01	床版	100×100×70	0.010	0.0007		B-11	縁端拡幅	100×300×(80+15)	0.030	0.0029	必要かぶり厚15mm
B-02	床版	50×50×70	0.003	0.0002		B-12	縁端拡幅	150×100×(80+15)	0.030	0.0014	"
B-03	床版	50×50×70	0.003	0.0002		B-13	縁端拡幅	200×500×(80+15)	0.030	0.0095	"
B-04	縁端拡幅	170×120×(80+15)	0.020	0.0019	必要かぶり厚15mm	B-14	A2橋台	80×120×80	0.030	0.0008	胸壁
B-05	縁端拡幅	120×220×(80+15)	0.026	0.0025	"	B-15	A2橋台	80×120×80	0.030	0.0008	"
B-06	縁端拡幅	150×250×(80+15)	0.038	0.0036	"						
B-07	縁端拡幅	150×250×(80+15)	0.038	0.0036	"						
B-08	縁端拡幅	100×200×(80+15)	0.020	0.0019	"						
B-09	縁端拡幅	240×300×(80+15)	0.072	0.0068	"						
B-10	縁端拡幅	80×170×(80+15)	0.014	0.0013	"						

※上部工(床版) 調査時の剥離深さが70mm以下の場合には、はつり深さ70mmとする。
 ※下部工(胸壁・縁端拡幅) 調査時の剥離深さが80mm以下の場合には、はつり深さ80mmとする。
 ※縁端拡幅部は鉄筋のかぶり厚を確保するため、元の仕上げよりかぶり厚が15mm以上になるよう施工すること。

ひび割れ補修工・断面修復工 合計(1構造物当り)

工種	種別	仕様	単位	数量	備考
ひび割れ補修工 充填工法	ひび割れ延長	ひび割れ延長	m	1.0	
	充填剤	可とうエポキシ樹脂	kg	0.204	ロス率を含まない
	シーリング材	エポキシ樹脂系パテ	kg	0.242	ロス率を含まない
ひび割れ補修工 低圧注入工法	ひび割れ延長	ひび割れ延長	m	0.95	
	注入材	エポキシ樹脂系	kg	0.006	ロス率1:15
	注入器	注入器	個	4	
断面修復工 左管工法 (防錆処理有)	断面修復体積	"	m ³	0.0381	満期検査箇所含む

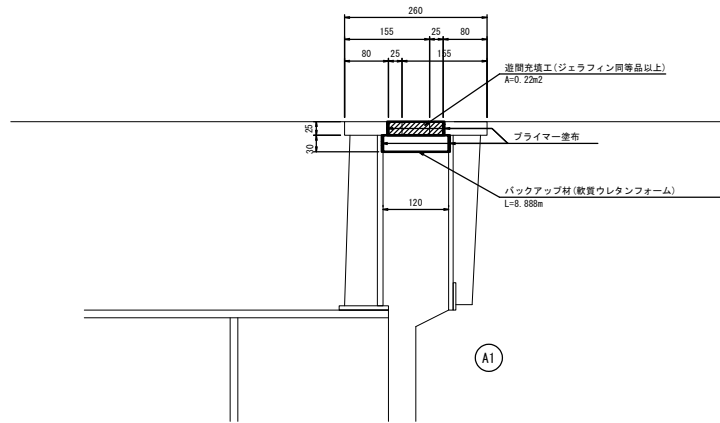
ニノ 漏帳(1)

工事名	ニノ 漏帳補修工事
工事場所	京都市左京区大原小出石町地内
図面名	ひび割れ補修工・断面修復工詳細図
事業年度	令和8年度
縮尺	S=1:50 図面番号 4 / 22
京都市建設局土木管理課横りよう健全推進課	

伸縮装置充填工詳細図

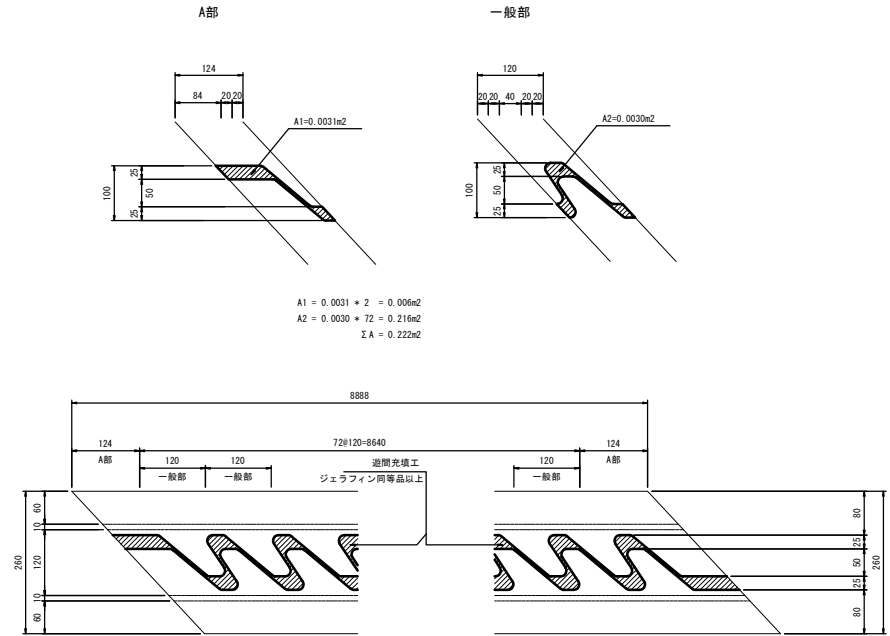
S=1:5

断面図



- ※1 A1側のみ施工する。
- ※2 プライマー+バックアップ材は床版下面から設置し、
充填材は路面より設置する。
- ※3 充填剤の密着性を確保するため、
道開拡大時期(冬期など)に施工することが望ましい。

充填求積平面図



伸縮装置充填工 数量表

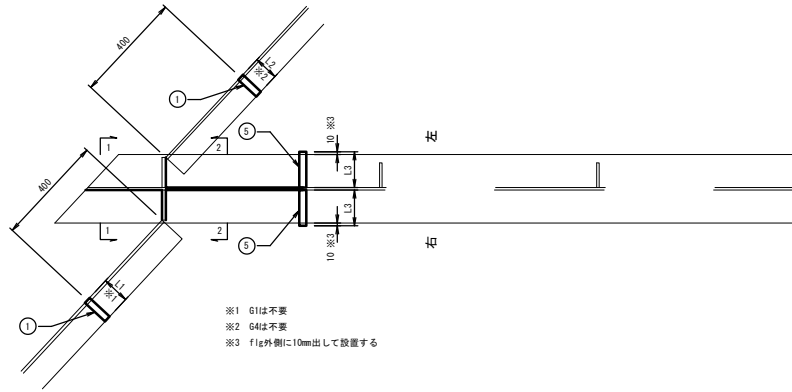
名称	規格	単位	数量	
			A1	備考
充填材	ジェラフィン同等品以上	kg	5.8	ロス率: 1.20
バックアップ材	軟質ウレタンフォーム	m ²	1.1	厚さ30mm

二ノ瀬橋(1)	
工事名	二ノ瀬橋補修工事
工事場所	京都市左京区大原小出石町地内
図面名	伸縮装置充填工詳細図
事業年度	令和8年度
縮尺	S=1:5 図面番号 5 / 22
京都市建設局土木管理部横りょう健全推進課	

橋梁用水切り設置工詳細図

S=1:10

A2側桁下図



※1 G11は不要
 ※2 G41は不要
 ※3 Flg外側に10mm出して設置する

番号	設置箇所	備考
①	端対稱構下面水切り工	主桁から400mmの位置の端対稱構下面に設置する
②	主桁V.Stiff水切り工	主桁Web側に傾けてV.Stiffに設置する
③	主桁Web奥側水切り工	②④と隙間なく下端を外側に10mm出して設置する
④	主桁Web前側水切り工	②③④と隙間なく設置する
⑤	主桁L.Flge上面水切り工	Flge外側に10mm出して設置する

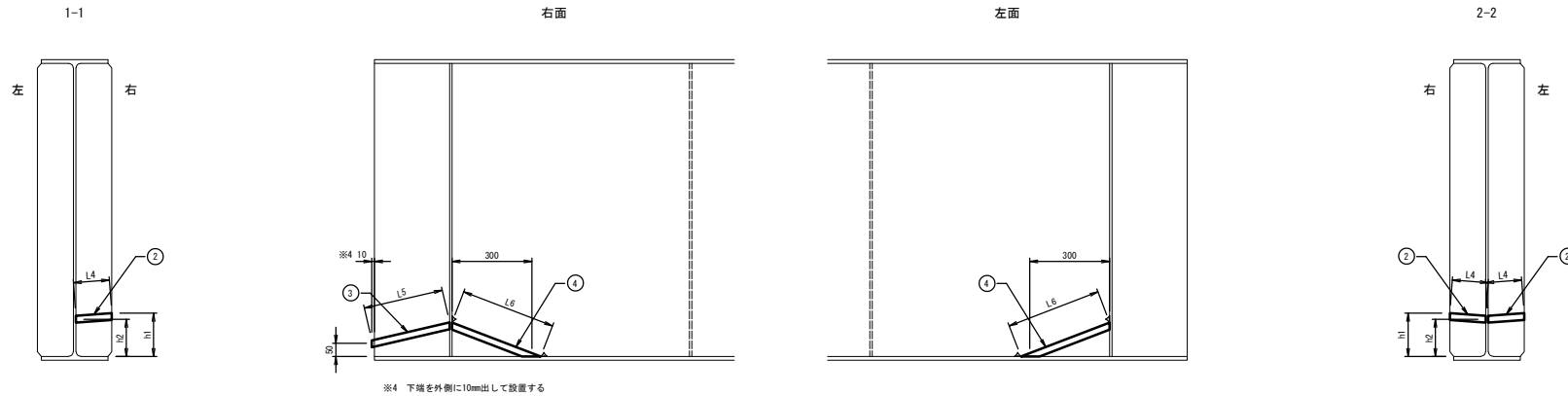
	h1	h2
G1桁	100	90
G2桁	150	140
G3桁	150	140
G4桁	150	140

橋梁用水切り設置工 数量表 (単位: m)

	G1桁	G2桁	G3桁	G4桁
L1	-	0.10	0.13	0.13
L2	0.13	0.13	0.13	-
L3	0.10+2	0.13+2	0.13+2	0.11+2
L4	0.11+3	0.11+3	0.11+3	0.11+3
L5	0.30	0.30	0.30	0.30
L6	0.31+2	0.32+2	0.32+2	0.32+2
計	1.58	1.76	1.79	1.62

合計: 6.75m

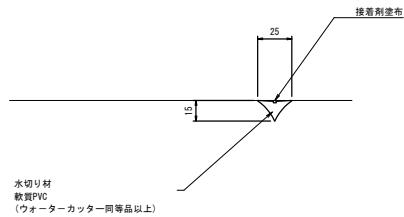
主桁正面図



※4 下端を外側に10mm出して設置する

水切り設置詳細図

S=1:2



水切り材
 軟質PVC
 (ウォーターカッター同等品以上)

注記

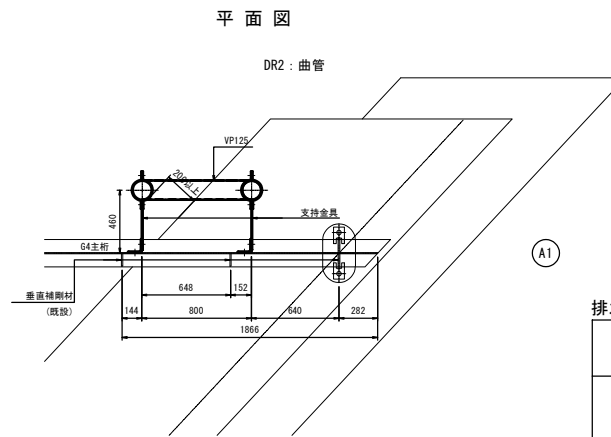
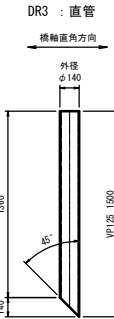
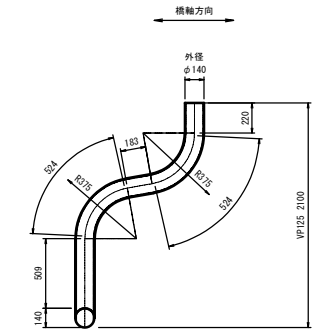
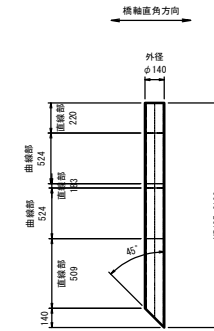
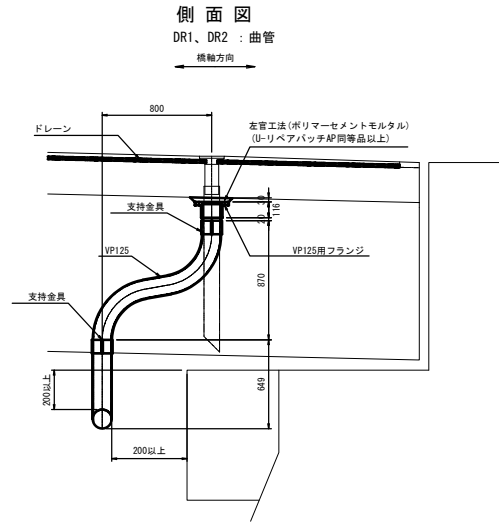
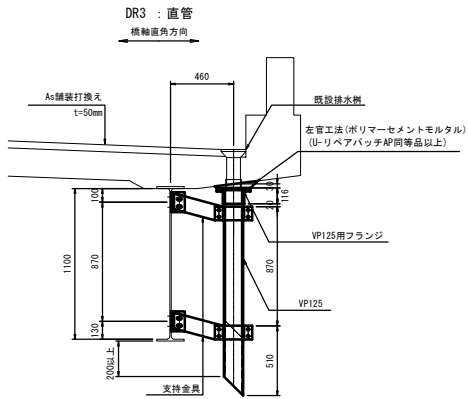
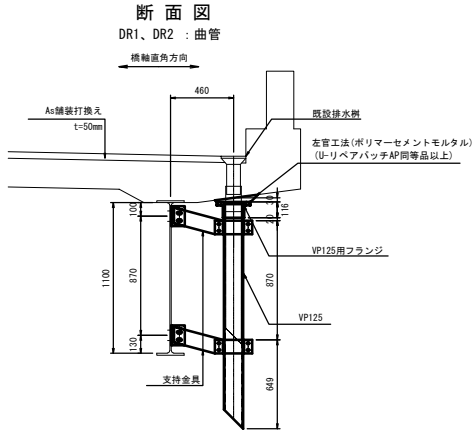
- 1) 既設構造物および補修範囲の寸法等を確認のうえ、施工すること。
- 2) 水切り材は、表面を清掃して設置すること。
 当該水切り材は、ポリウレタン樹脂の可視性剥離防止工のうえに接着できる試験が過去に実施されており、接着性に問題がない。
 他の製品・工法に変更する場合は、接着確認試験等を実施すること。

二ノ圖様(1)

工事名	二ノ瀬橋補修工事		
工事場所	京都市左京区大原小出石町地内		
図面名	橋梁用水切り設置工詳細図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図番番号	6 / 22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

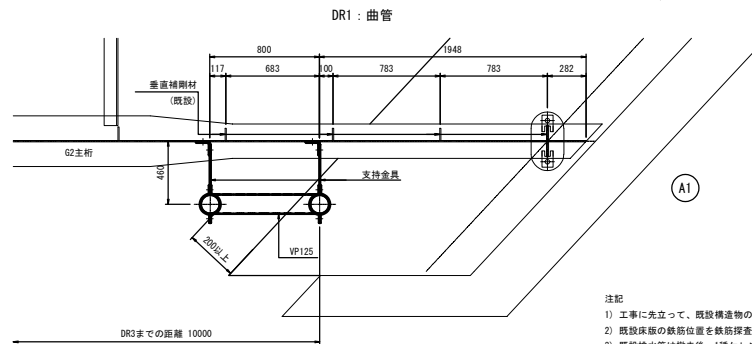
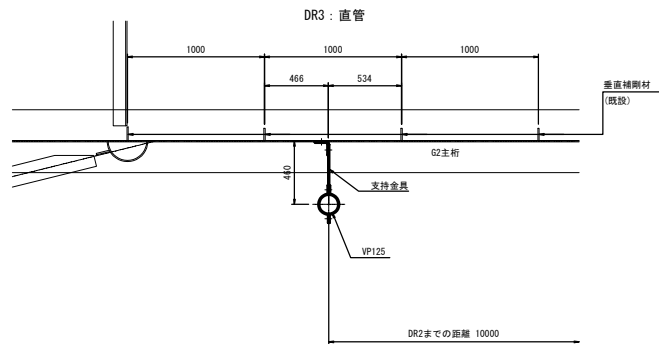
排水施設工・排水管撤去工 詳細図(1)

S=1:20



排水施設工 合計

工種	種別	仕様	単位	数量	備考
排水施設工	排水管	VP管	m	5.7	
		VP125用フランジ	個	3	



注記

- 1) 工事に先立って、既設構造物の形状測定を行い、支持材の寸法を調整すること。
- 2) 既設床版の鉄筋位置を鉄筋探査のうえ、アンカーボルト孔の削孔を行うこと。
- 3) 既設排水管は撤去後、1種ケレンした後処分すること。

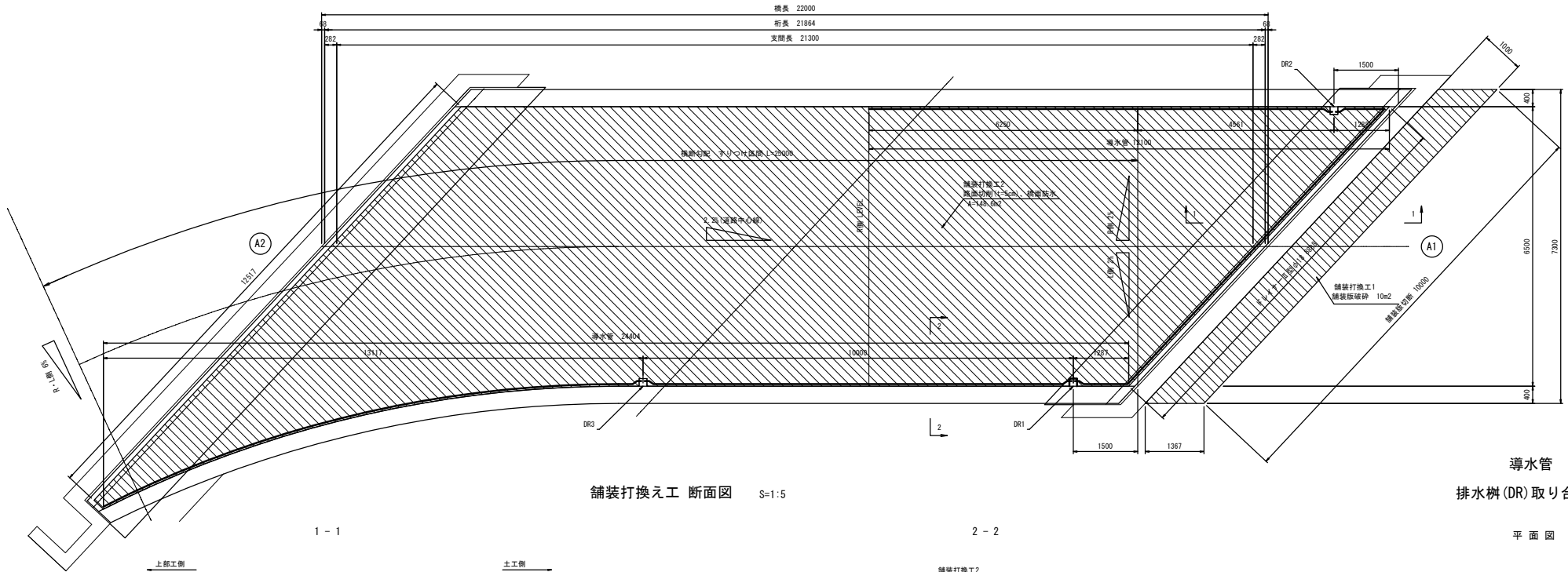
ニノ瀬橋(1)

工事名	ニノ瀬橋修理工事		
工事場所	京都市左京区大原小出石町地内		
図面名	排水施設工・排水管撤去工 詳細図(1)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	S=1:20	図面番号	7 / 22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

橋面防水工・舗装打換え工・区画線工 詳細図

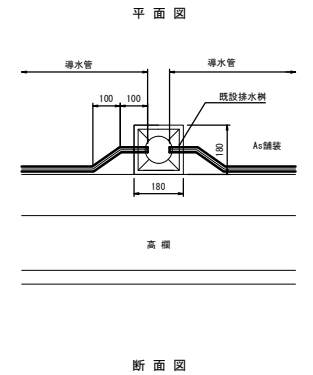
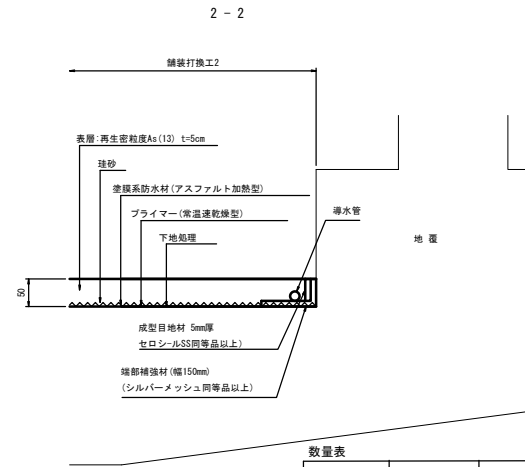
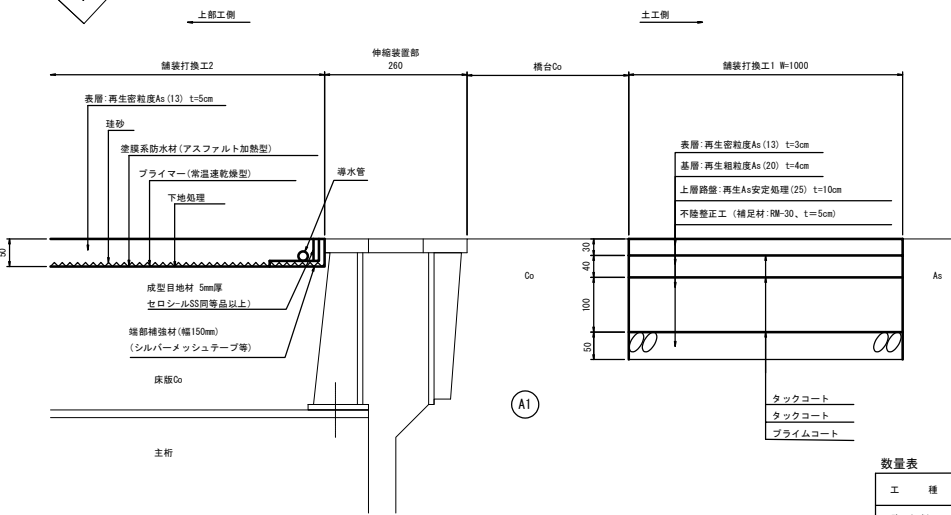
S=1:50

平面図

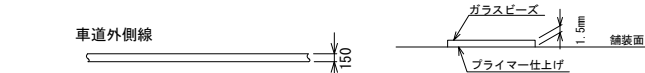


舗装打換え工 断面図 S=1:5

排水管 排水樹 (DR) 取り合い部 S=1:10



区画線工 S=NON



※品質の規格は、JIS K 5665 3種1号 (ガラスの含有量15~18%) とする。

数量表

工種	種別	規格・条件	単位	数量	備考
路面切削工	路面切削	t=5cm	m	148.6	
橋面防水工	塗膜系防水材	アスファルト加熱型	m	148.6	
	端部目地処理	シルバーメッシュ同等品以上	m	71.1	(47.8/100m ²) ロス率1.05
	成形目地材	セロシールSS同等品以上	m	71.1	(47.8/100m ²) ロス率1.05
	導水管	ドレーナーII型φ180同等品以上	m	47.7	(32.1/100m ²) ロス率1.05

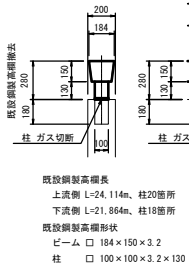
数量表

工種	種別	規格・条件	単位	数量	備考
舗装打換え工	舗装板切断	アスファルト舗装板 t=17cm	m	10	
	舗装板破砕	アスファルト舗装板 t=17cm	m ²	10	
	表層 (舗装打替工1)	再生密粒度As (13) t=5cm	m ²	10	設計密度2.35t/m ³
	基層 (舗装打替工1)	再生粗粒度As (20) t=4cm	m ²	10	設計密度2.35t/m ³
	不陸修正工 (舗装打替工1)	RW-30, t=5cm	m ²	10	
	表層 (舗装打替工2)	再生密粒度As (13) t=5cm	m ²	148.6	設計密度2.35t/m ³

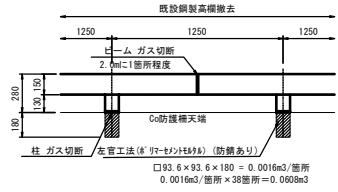
二ノ瀬橋(1)

工事名	二ノ瀬橋補修工事		
工事場所	京都市左京区大原小出石町地内		
図面名	橋面防水工・舗装打換え工 詳細図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	9 / 22
京都市建設局土木管理課横りょう健全推進課			

断面図



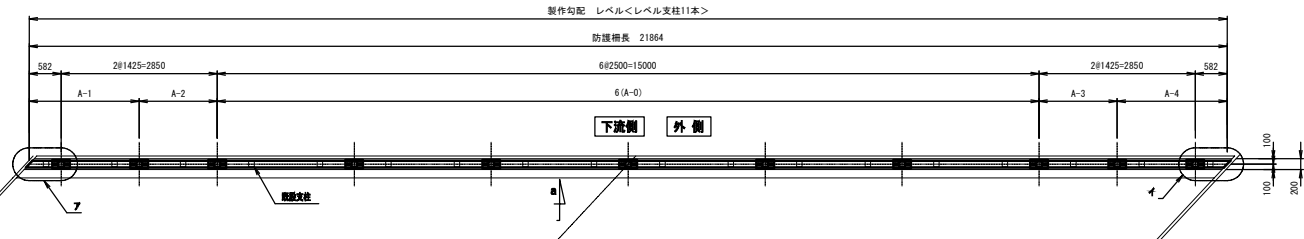
側面図



- 撤去手順
1. 柱、ビームガス切断
 2. 左官工法
 3. 吊足場内に荷下ろし
 4. 1種ケン(鉛除去)
 5. スクラップ処分

全体配置図

防欄部全長 L = 45978



橋長 (22000)

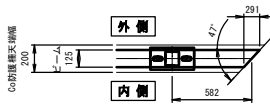
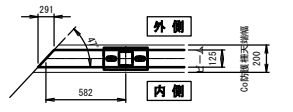
桁長 (21864)

内側

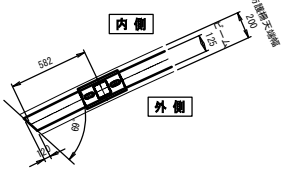
ビーム端部処理 詳細図

A・工部詳細 S=1:20

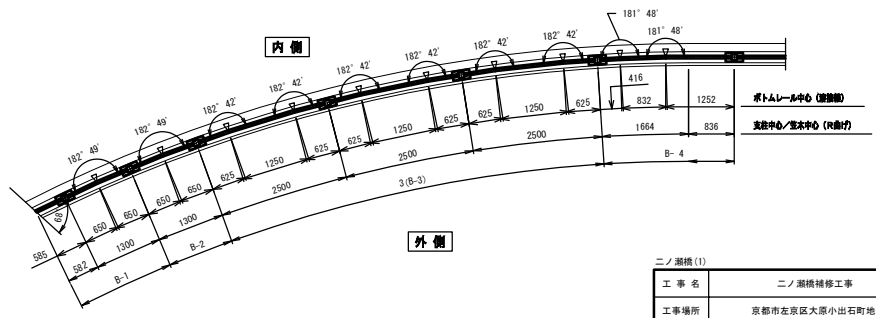
I部詳細 S=1:20



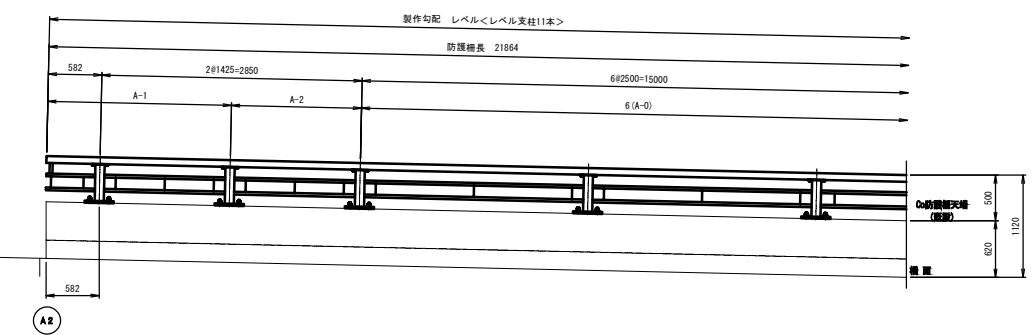
ウ部詳細 S=1:20



才部配置図



a-a 矢視 S=1:30



注記

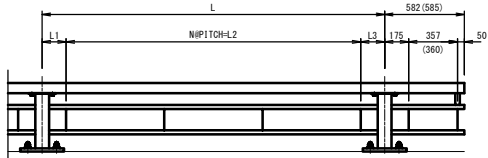
- 1) 寸法は支柱中心線上の距離を示す。
- 2) () 内寸法は水平長を示す。
- 3) ▼印は遊歩機設置位置を示す。
- 4) 工事に先立ち、既設構造物の形状測定を行い、製作を行うこと。
- 5) 既設床版の鉄筋位置を鉄筋探査のうえ、アンカーボルト孔の開孔を行うこと。
- 6) 鉄筋探査は1支柱あたり0.2×0.5=1.0m²とする

ニノ瀬橋(1)	
工事名	ニノ瀬橋修繕工事
工事場所	京都市左京区大原小出石町地内
図面名	橋梁用高欄工 詳細図(1)
事業年度	令和8年度
縮尺	図示
図面番号	10 / 22
京都市建設局土木管理課横りょう健康推進課	

橋梁用高欄工 詳細図(2)

S=1:3

バラスター配置図 S=1:20



L	L1	N/PITCH=L2	L3	数量	番号
2600	176	201076=2160	176	9	A-0(8), B-0(2)
1426	176	20897.5=1076	176	6	A-1・2・3・4, B-6・8
1300	176	500/480	176	2	B-1・2
2500	177.5	30716=2146	177.5	4	B-3(3)・4

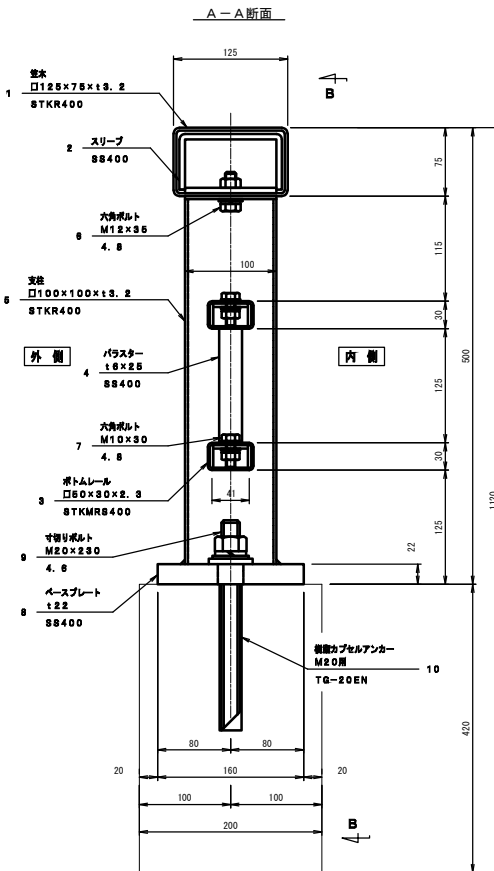
材料表

No	名称	(型番)及び長さ、寸法	材質	数量	単位重量	重量	備考
1	量本	□126×76×3.2×2496	STKR400	9	23.8	214.2	番号A-0(8), B-0(2)
		×2004.6	#	2	19.1	38.2	番号A-1, B-6 片角部用 N・エンドプレート付
		×1420	#	3	16.5	49.5	番号A-2・3, B-6
		×2004.6	#	1	19.1	19.1	番号A-4 片角部用 N・エンドプレート付
		×1879.6	#	1	17.9	17.9	番号B-1 R26617番 片角部用 N・エンドプレート付
		×1286	#	1	12.3	12.3	番号B-2 R26617番
		×2496	#	3	23.8	71.4	番号B-3 R26617番
		×2496	#	1	23.8	23.8	番号B-4 R26617番一部用
2	スリーブ	L=200	SS400	19	1.2	22.8	N付
3	ボトムレール	□60×60×3.2×2980	STKMR6400	18	6.9	113.4	番号A-0(12), B-0(6)
		×1316	#	12	3.4	40.8	番号A-1(2)・2(2)・3(2)・4(2), B-5(2)・6(2)
		×1190	#	4	3.1	12.4	番号B-1(2)・2(2) 脚部用
		×2390	#	6	6.3	37.8	番号B-3 脚部用
		×2390	#	2	6.3	12.6	番号B-4 脚部用
		× 627	#	4	1.4	5.6	番号A-1脚部(2), B-6脚部(2) 片角部用 エンドプレート付
		× 627	#	2	1.4	2.8	番号A-4脚部 片角部用 エンドプレート付
		× 630	#	2	1.4	2.8	番号B-1脚部 片角部用 エンドプレート付

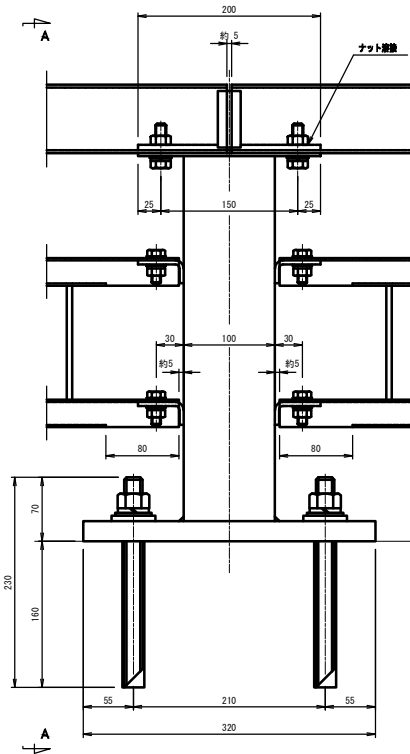
No	名称	(型番)及び長さ、寸法	材質	数量	単位重量	重量	備考
4	バラスター	18×28×126	SS400	76	0.1	7.6	
5	量本	□100×100×3.2×406	STKR400	23	4.3	98.9	高さ500用
6	六角ボルト	M12×36	4.8	46	0.06	2.8	W, SWH
7	六角ボルト	M10×30	4.8	92	0.06	4.8	N, 2-W, SWH
8	ベースプレート	t22×160×320	SS400	23	6.6	202.4	
9	寸張りボルト	M20×230	4.8	46	0.7	32.2	N・W・W(φ40)・SWH
10	樹脂カプセルアンカー	M20用	樹脂	46	-	-	TG-ZOEN
11	ボトム部止め止ねじ	t4.8×32×77.5	SS400	8	0.1	0.8	
12	六角ボルト	M8×26	4.8	4	0.03	0.1	N, 2-W, SWH

合計重量 1037.7kg

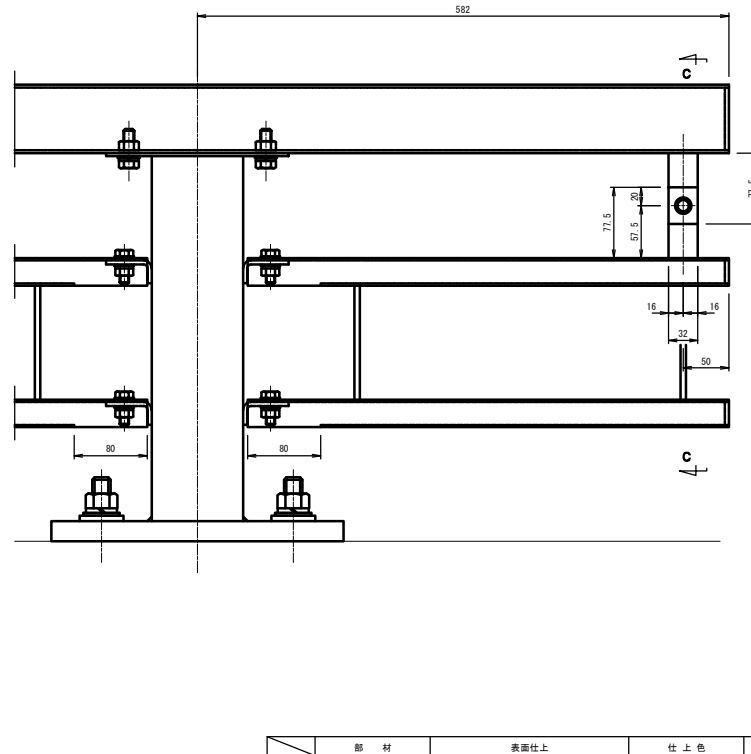
嵩上げ柵取付詳細図



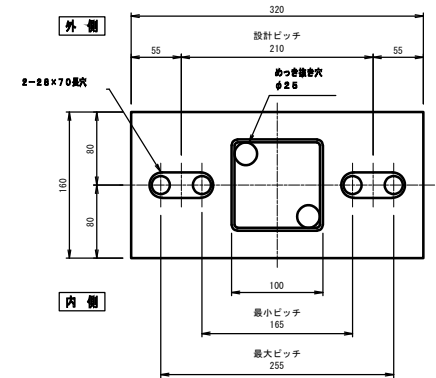
B-B断面



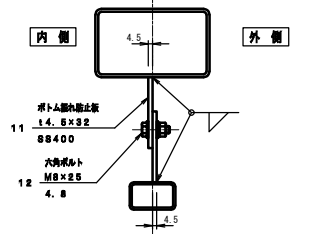
端部詳細



ベースプレート詳細図



C-C断面



樹脂カプセルアンカー
穿孔径×長さ φ24×160mm

部材	表面仕上	仕上色	備考
防護柵本体	HDZT49+塗膜	ダークブラウン	
ボルト類	HDZT49	—	

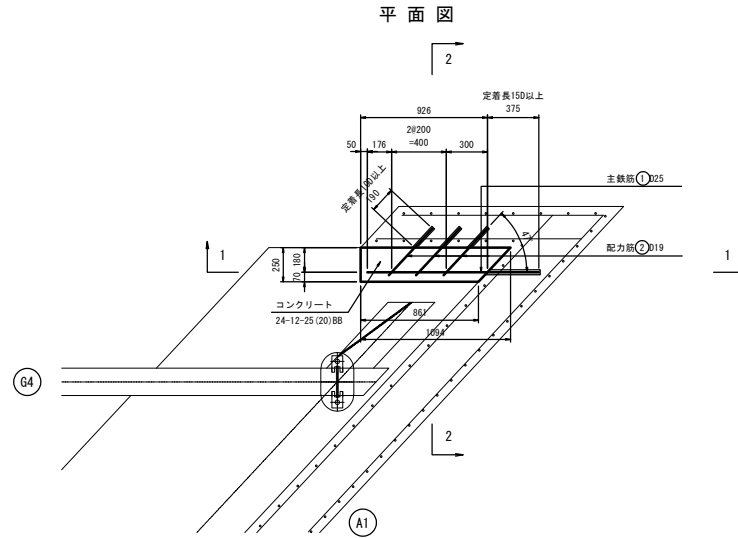
注記
1) 橋梁用ビーム型防護柵は、(一社) 全国高欄協会にて認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。
2) Kはボトムレール・ベースプレート違い、幅高さ違いを示す

ニノ橋橋(1)		ニノ橋橋修工事	
工事場所	京都市左京区大原小出石町地内	図面番号	11 / 22
図面名	橋梁用高欄工 詳細図(2)	縮尺	図示
事業年度	令和 8年度	図面番号	11 / 22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

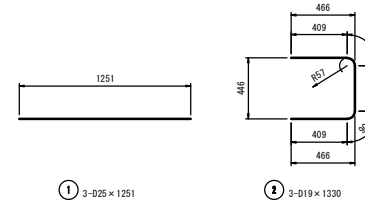
側壁補強工 構造図(1)

S=1:20

A1橋台(固定側)



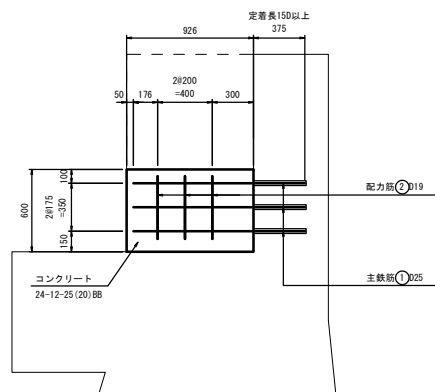
鉄筋加工図



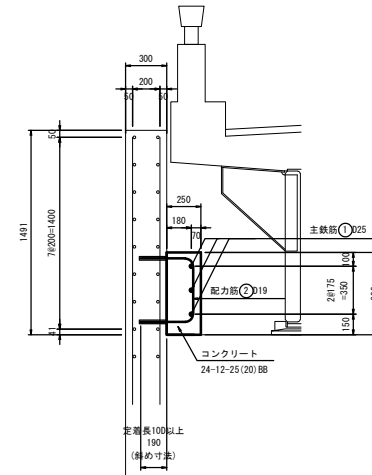
鉄筋重量表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
①	D 25	1251	3	3.980	4.98	15	
②	D 19	1330	3	2.250	2.99	9	
						S0345	24 kg

1 - 1

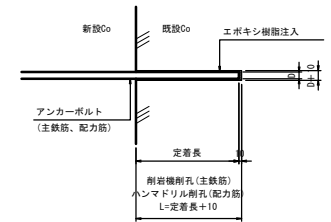


2 - 2



定着部詳細図

S=1:10



ニノ瀬橋(2)

工事名	ニノ瀬橋補修工事		
工事場所	京都市左京区大原小出石町地内		
図面名	側壁補強工 構造図(1)		
事業年度	令和 8年度		
縮尺	図示	図面番号	12 / 22
京都市建設局土木管理部横りょう健全推進課			

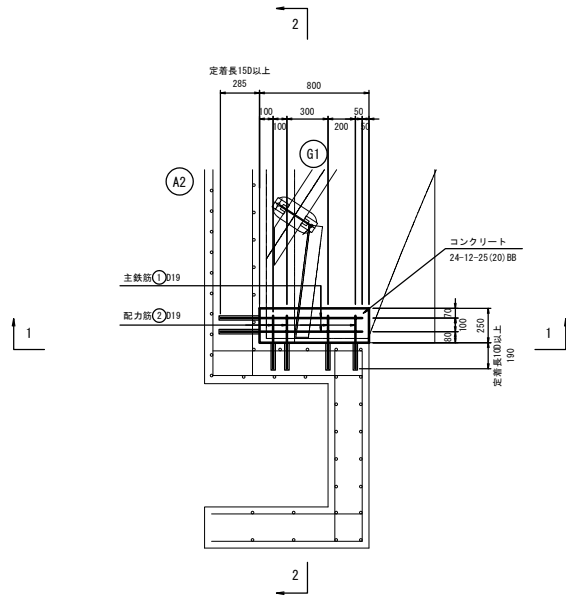
※鉄筋探査は1箇所当たり、0.25×0.25=0.0625m²とする

側壁補強工 構造図(2)

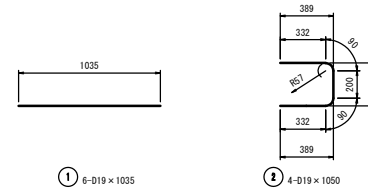
S=1:20

A2橋台(可動側)

平面図



鉄筋加工図

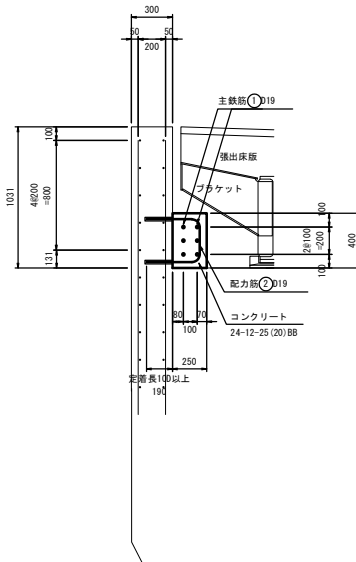
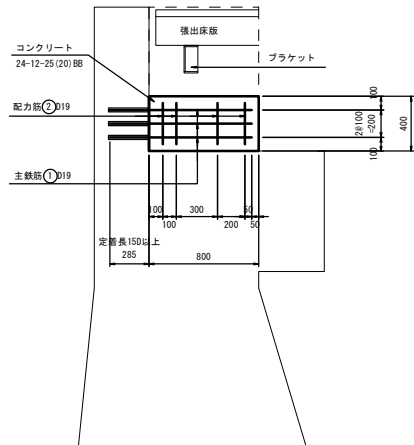


鉄筋重量表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	備考
①	D 19	1035	6	2.250	2.34	14	
②	D 19	1050	4	2.250	2.36	9	
						SD345	23 kg

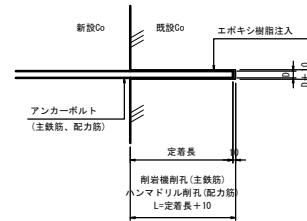
1 - 1

2 - 2



定着部詳細図

S=1:10



側壁補強工 合計

細別	規格	単位	数量	備考
コンクリート	24-12-25 (20) (高炉)	m3	0.23	
型枠	一般型枠、小型構造物	m2	1.1	
コンクリート削孔	さく岩機(ハンドドリル空圧式) (Φ35:3孔、Φ29:6孔)	孔	9	
コンクリート削孔	電動ハンマドリル	孔	14	
アンカー	注入材材質:エポキシ樹脂系 (0.3kg/本)	本	3	注入材材質:ロス率20%
アンカー	注入材材質:エポキシ樹脂系 (0.2kg/本)	本	6	注入材材質:ロス率20%
アンカー	注入材材質:エポキシ樹脂系 (0.1kg/本)	本	14	注入材材質:ロス率20%
鉄筋工	SD345 D19、D25	kg	47	

ニノ遊橋(2)

工事名	ニノ遊橋補修工事		
工事場所	京都市左京区大原小出石町地内		
図面名	側壁補強工 構造図(2)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	13 / 22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

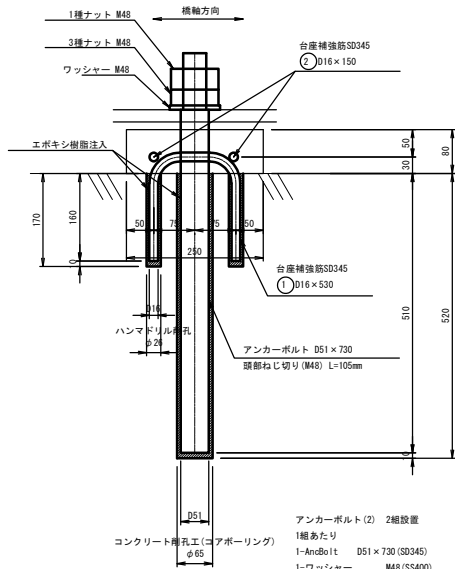
支承補強工・当て板補修工 詳細図(2)

S=1:5

アンカーボルト・台座補強筋 定着部詳細図

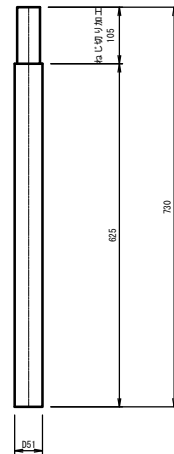
A1橋台(固定側)-G2主桁

支承補強工 製作図

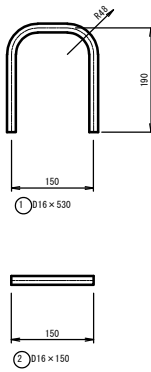


- アンカーボルト(2) 2組設置
1組あたり
1-Anchor Bolt D51×730 (SD345)
1-ワッシャー M48 (SS400)
1-Nut M48 (1種、SS400)
1-Nut M48 (3種、SS400)
2-台座補強筋 D16×530 (SD345)
2-台座補強筋 D16×150 (SD345)

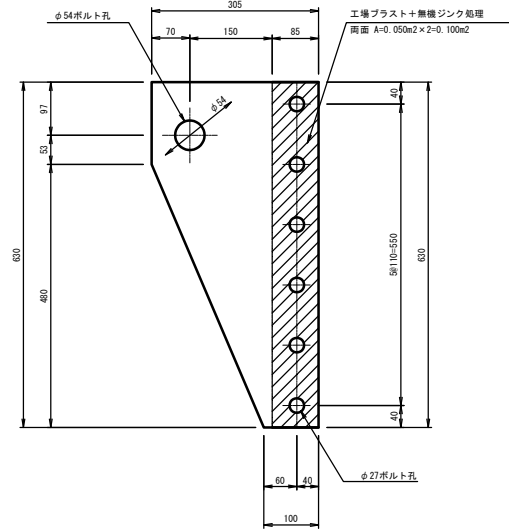
アンカーボルト



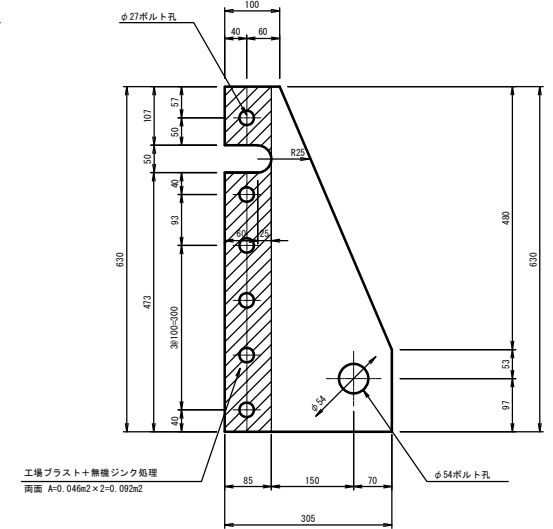
台座補強筋



水平力分担構造(L) 平面図

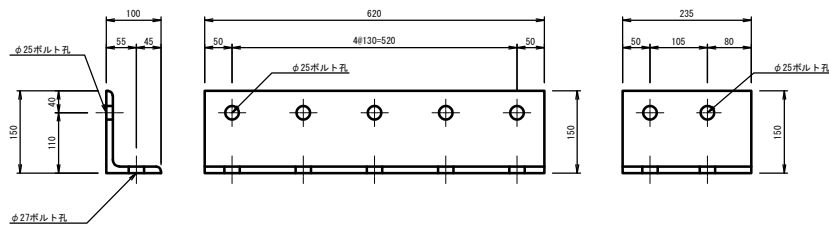


水平力分担構造(R) 平面図

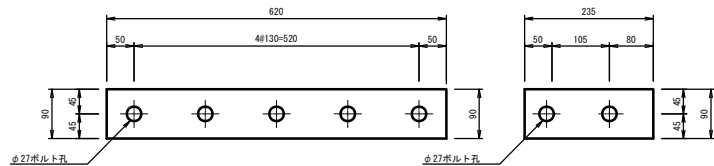


当て板工 製作図

L形鋼



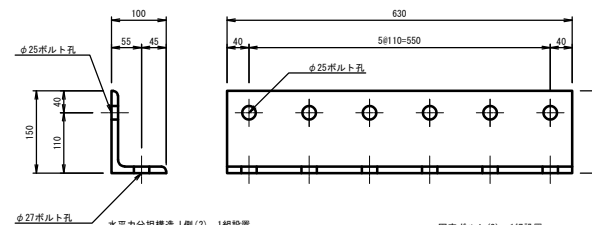
PL(平面図)



- 当て板工(1) 1組設置
1箇所あたり 25kg
1-PL 90×12×620 (SS400)
1-L 150×100×12 L=620 (SS400)
5-WUTF 24-40 (A1S14140, またはSCM440)
5-TCB M22×60 (S10T)

- 当て板工(1) 1組設置
1箇所あたり 10kg
1-PL 90×12×235 (SS400)
1-L 150×100×12 L=235 (SS400)
2-WUTF 24-40 (A1S14140, またはSCM440)
2-TCB M22×60 (S10T)

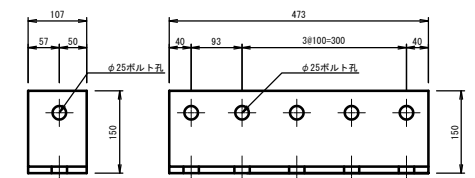
L形鋼(L)



- 水平力分担構造 L側(2) 1組設置
1組あたり 44kg
1-F1gPL 630×22×305 (SS400) Net10.74
6-WUTF 24-50 (A1S14140, またはSCM440)
1-L 150×100×12 L=630 (SS400)

- 固定ボルト(2) 1組設置
6-TCB M22×70 (S10T)

L形鋼(R)



- 水平力分担構造 R側(2) 1組設置
1組あたり 42kg
1-F1gPL 630×22×305 (SS400) Net10.72
6-WUTF 24-50 (A1S14140, またはSCM440)
1-L 150×100×12 L=107 (SS400)
1-L 150×100×12 L=473 (SS400)

ニノ瀬橋(1)(2)

工事名	ニノ瀬橋補修工事
工事場所	京都市左京区大原小出石町地内
図面名	支承補強工・当て板補修工 詳細図(2)
事業年度	令和 8年度
縮尺	S=1:5 図面番号 15 / 22
京都市建設局土木管理課横りょう健全推進課	

※(1)はニノ瀬橋(1)、(2)はニノ瀬橋(2)を示している

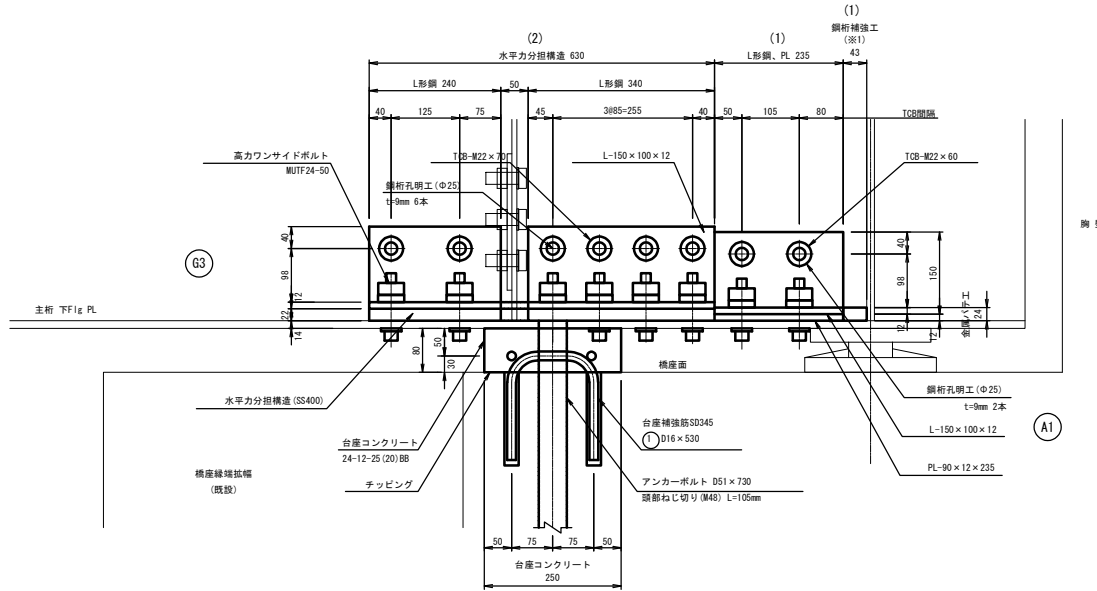
支承補強工・当て板補修工 構造図(3)

S=1:5

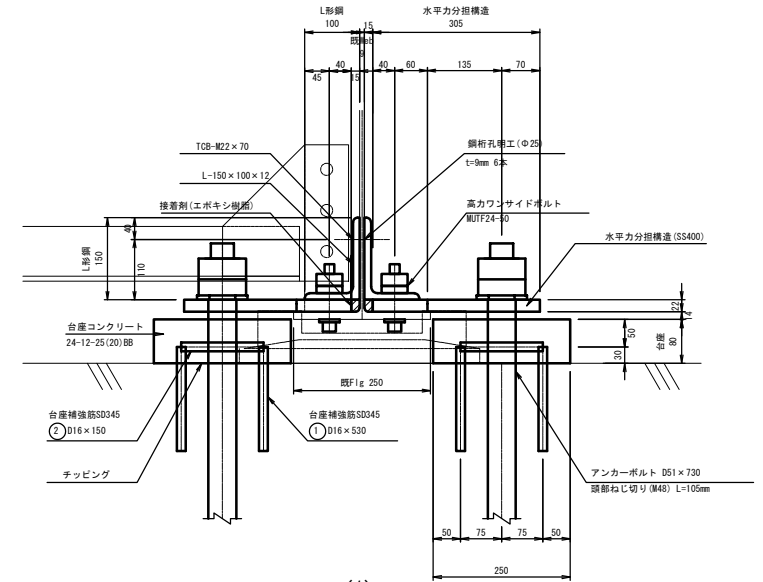
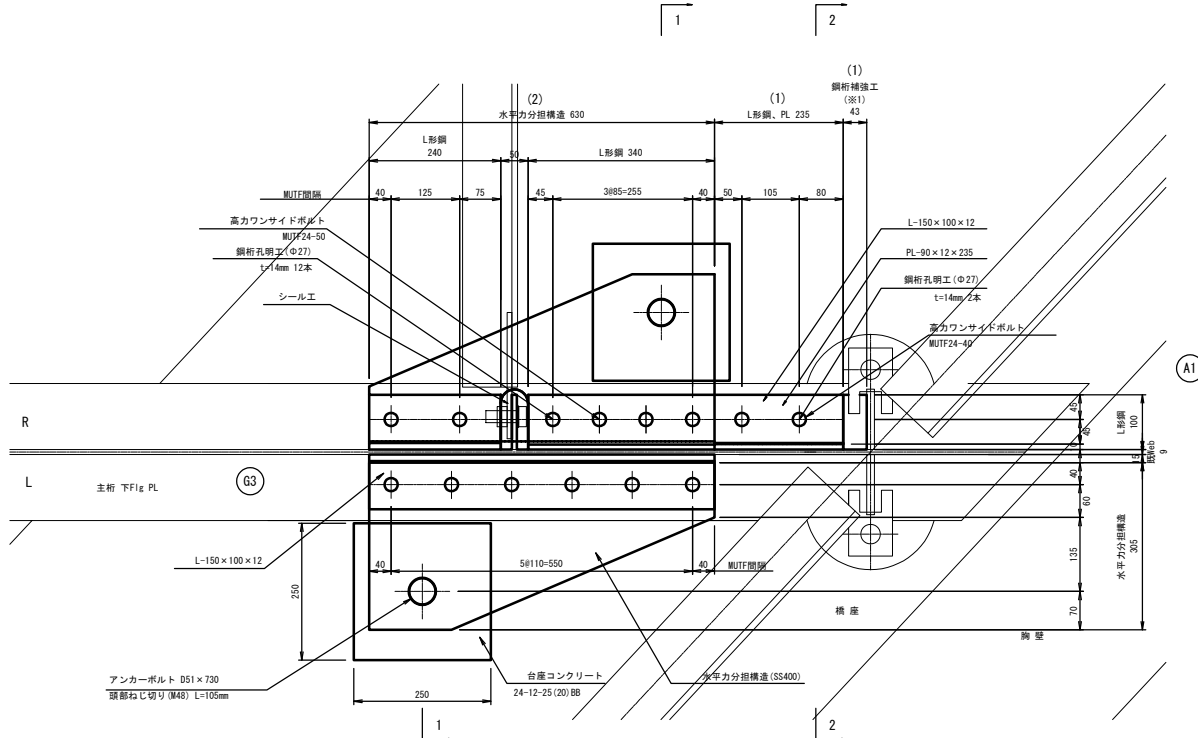
(2)
1-1

側面図

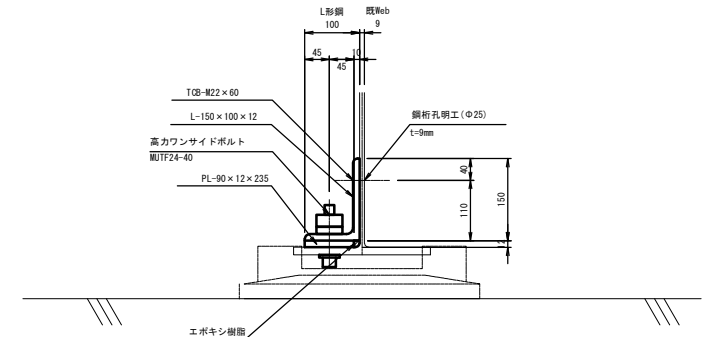
A1橋台(固定側)-G3主桁



平面図



(1)
2-2



注記

- 1) 工事に先立って、既設構造物の形状測定を行い、寸法等を確認すること。
- 2) 既設支承補強鉄筋位置を鉄筋探査のうえ、アンカーボルト孔の削孔を行うこと。
- 3) 水平力分担構造の防食仕様はHDZT77(一部工場プラスト+無機シンク処理)、アンカーボルト及びナットはHDZT49とする。
- 4) 当て板およびL形鋼はプラスト処理(ISO Sa2 1:2以上)および無機シンクリッチペイント600g/m²を行うこと。

※1 鋼筋補強工の詳細については「鋼筋補強工 詳細図」を参照すること。

※(1)はニノ瀬橋(1)、(2)はニノ瀬橋(2)を示している

ニノ瀬橋(1)(2)

工事名	ニノ瀬橋補修工事
工事場所	京都市左京区大原小出石町地内
図面名	支承補強工・当て板補修工 構造図(3)
事業年度	令和8年度
縮尺	S=1:5
図面番号	16/22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課	

支承補強工・当て板補修工 詳細図(7)

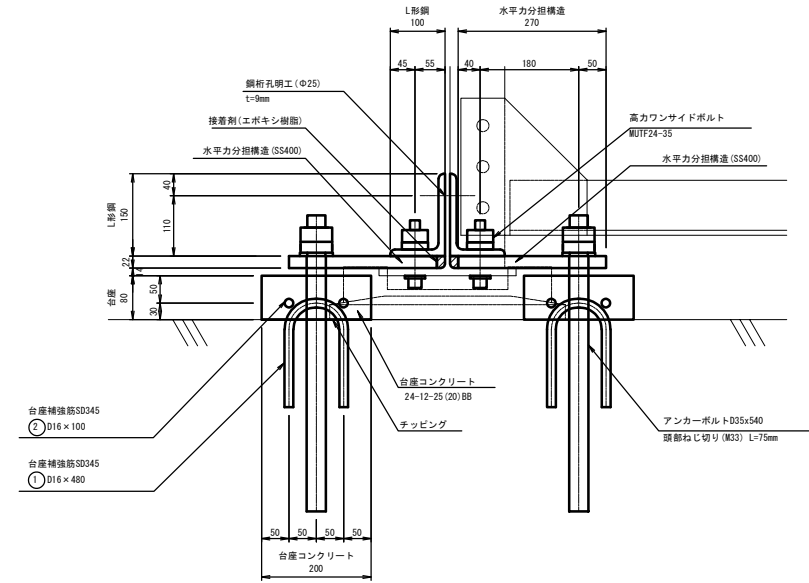
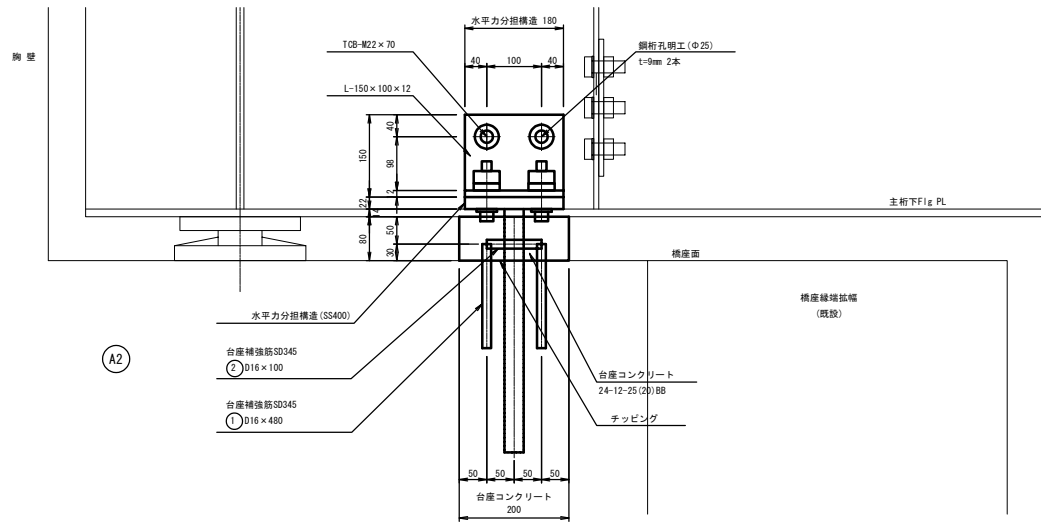
S=1:5

(2)

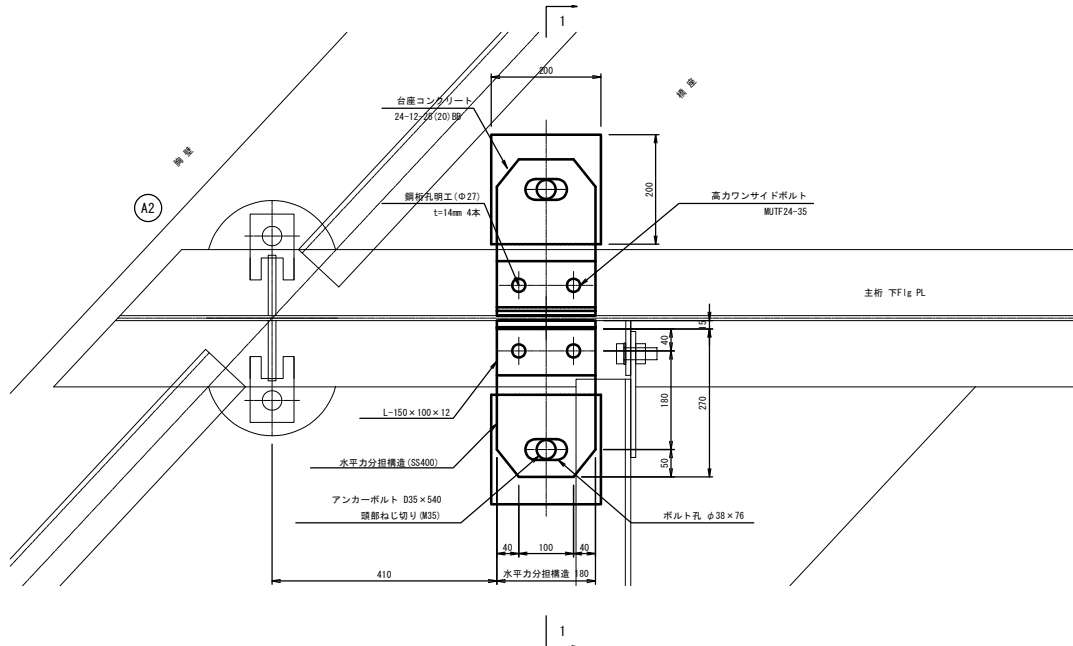
1 - 1

A2橋台(可動側) G2, G3, G4共通

(2)
側面図



(2)
平面図(2)



注記

- 1) 工事に先立って、既設構造物の形状測定を行い、寸法等を確認すること。
- 2) 既設支承補強鉄筋位置を鉄筋探査のうえ、アンカーボルト孔の削孔を行うこと。
- 3) 水平力分担構造の防食仕様はHDZT77(一部工場プラスト+無機ジंक処理)、アンカーボルト及びナットはHDZT49とする。
- 4) 当て板およびL形鋼はプラスト処理(ISO Sa2 1:2以上)および無機ジंकリッチペイント60g/m²を行うこと。

※(2)は二ノ瀬橋(2)を示している

二ノ瀬橋(2)

工事名	二ノ瀬橋補修工事
工事場所	京都市左京区大原小出石町地内
図面名	支承補強工・当て板補修工 詳細図(7)
事業年度	令和8年度
縮尺	S=1:5 図面番号 20 / 22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課	

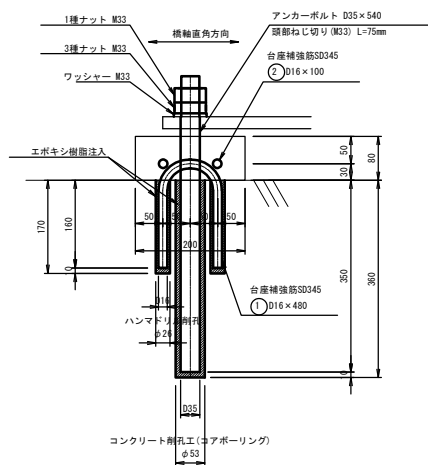
支承補強工・当て板補修工 詳細図(8)

S=1:5

A2橋台(可動側) G2, G3, G4共通

支承補強工 製作図

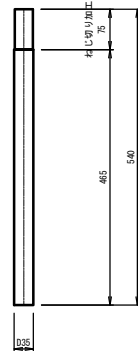
アンカーボルト・台座補強筋 定着部詳細図



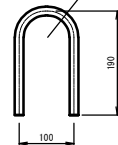
- アンカーボルト(2) 2組設置/1支承当たり
1組あたり
1-Anch Bolt D35 x 540 (SD345)
1-ワッシャー M33 (SS400)
1-Nut M33 (1種, SS400)
1-Nut M33 (3種, SS400)
2-台座補強筋 D16 x 480 (SD345)
2-台座補強筋 D16 x 100 (SD345)

※アンカーボルトはねじ切り部のみ溶融亜鉛メッキを施すものとする。

アンカーボルト



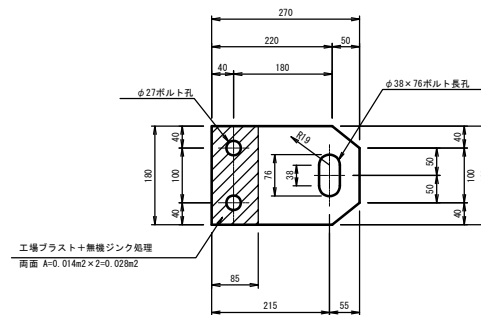
台座補強筋



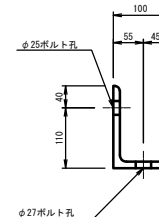
① D16 x 480

② D16 x 100

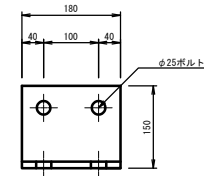
水平力分担構造 (R) (L) 平面図



L形鋼



- 水平分担構造(2) 2組設置/1支承当たり
1組あたり27kg
1-F IqPL 180 x 22 x 270 (SS400) Net. 91
2-WUTF 24-35 (AISI4140, またはSCM440)
1-L 150 x 100 x 12 L=180 (SS400)



- 固定ボルト(2) 1組設置/1支承当たり
2-TCB M22 x 70 (S10T)

ニノ瀬橋(2)

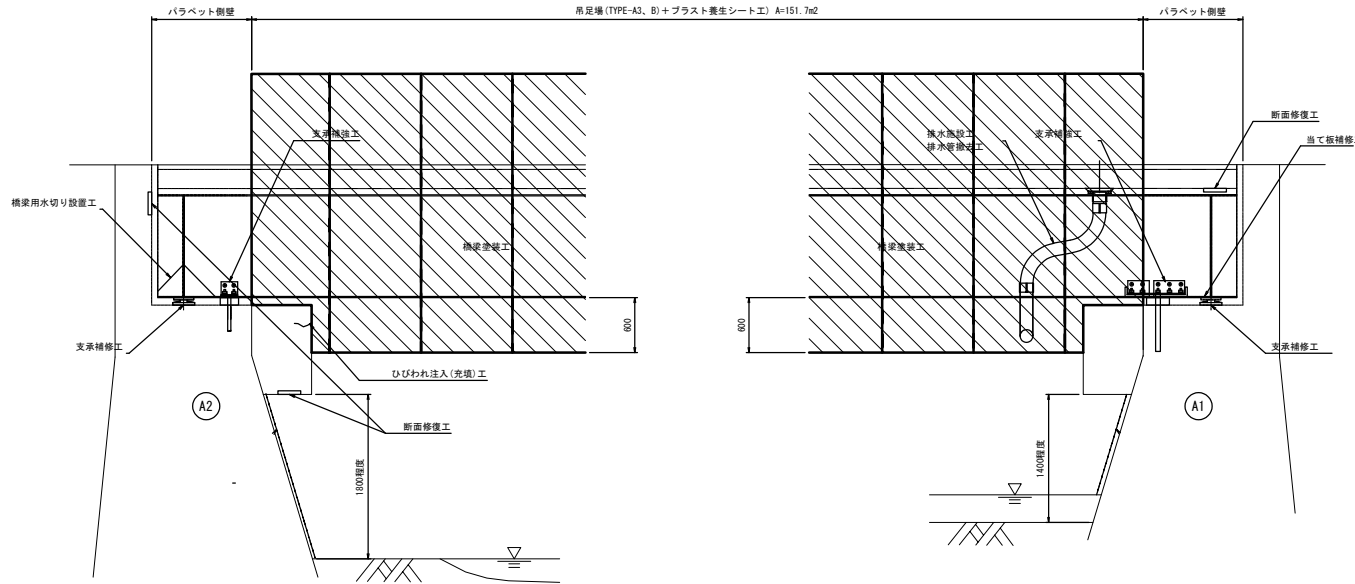
工事名	ニノ瀬橋補修工事		
工事場所	京都市左京区大原小出石町地内		
図面名	支承補強工・当て板補修工 詳細図(8)		
事業年度	令和 8年度		
縮尺	S=1:5	図面番号	21 / 22
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

仮設工 参考図

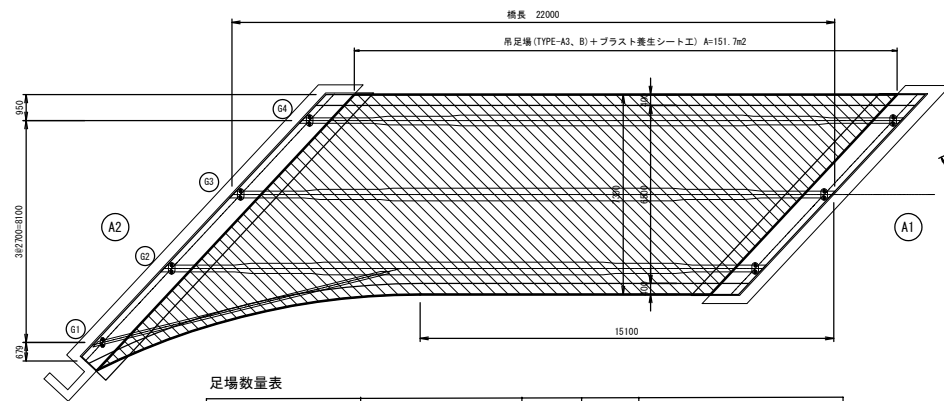
S=1:100

吊足場 側面図

S=1:30



吊足場 平面図

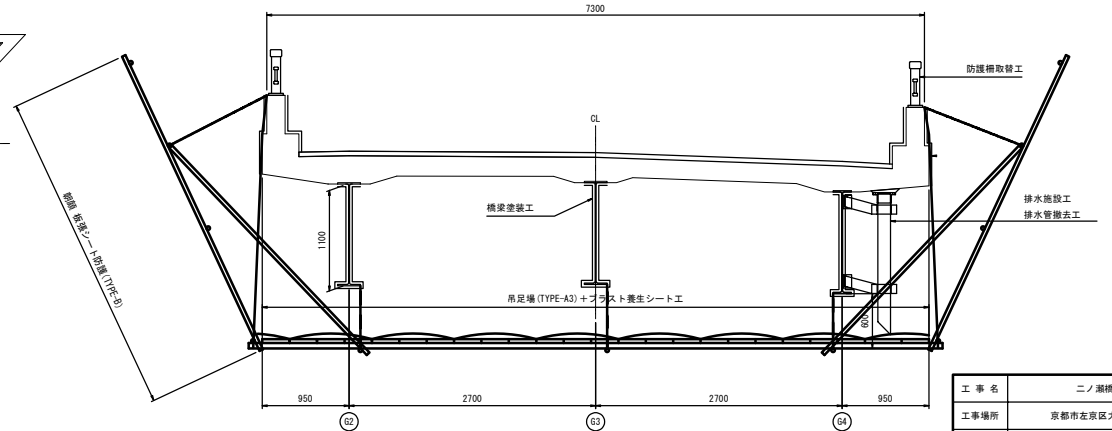


足場数量表

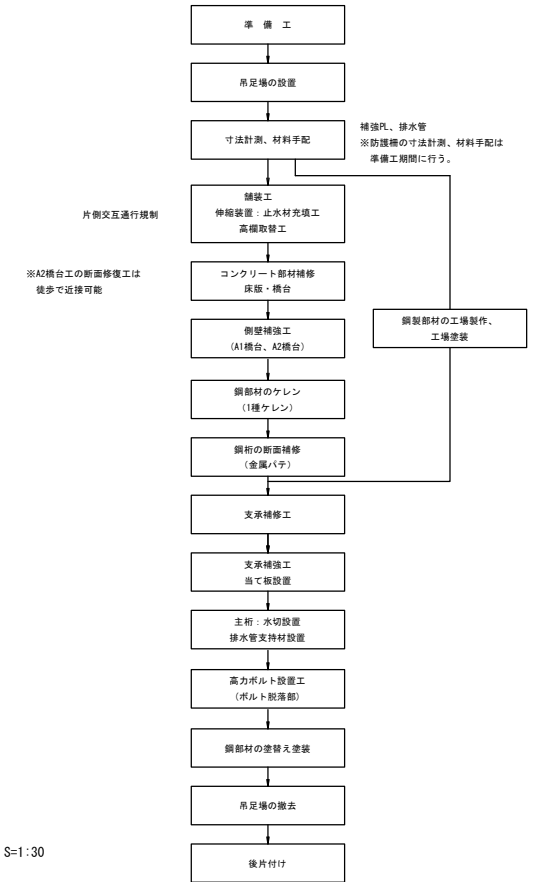
工種	種別	単位	数量	備考
吊足場	吊足場(桁高h<1.5)	m2	151.7	吊足場・朝顔(両側朝顔) 板張工(両面朝顔)・床板シート張り防護
プラスト用養生シート工		m2	151.7	

吊足場 標準断面図

S=1:30



全体施工フロー



注記
1) 参考数量となる工程については、施工フローに含めていない。

工事名	二ノ瀬橋補修工事		
工事場所	京都市左京区大原小出石町地内		
図面名	仮設工 参考図		
事業年度	令和 8年度		
縮尺	図示	図面番号	22 / 22
京都市建設局土木管理部横より健全推進課			